

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年12月15日(2011.12.15)

【公表番号】特表2011-517286(P2011-517286A)

【公表日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2011-022

【出願番号】特願2010-532167(P2010-532167)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 5 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月26日(2011.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医療用デバイスであって、

基端側セクション及び先端側セクションを有する長尺状のコア部材と

コア部材の先端側セクションの周囲に配置された管状部材であって、複数のスロットが形成されている管状部材とを含んでなり、

コア部材の先端側セクション及び管状部材は医療用デバイスの先端チップを形成し、先端チップは基端部と先端部とを有することと、

先端チップは、該先端チップに2 %又はそれ以上の歪みを引き起こすのに十分な力を受けたときに塑性変形するような曲げ剛性を有することと、

先端チップの基端部の近くでは管状部材が先端チップの曲げ剛性の30 %以下を担い、かつ先端チップの先端部の近くでは管状部材が先端チップの曲げ剛性の70 %以上を担うことと

を特徴とする医療用デバイス。

【請求項 2】

コア部材は超弾性ニッケル - チタン合金を含む、請求項1に記載の医療用デバイス。

【請求項 3】

コア部材は線形弾性ニッケル - チタン合金を含む、請求項1に記載の医療用デバイス。

【請求項 4】

コア部材は超弾性及び線形弾性のニッケル - チタン合金を含む、請求項1に記載の医療用デバイス。

【請求項 5】

コア部材はステンレス鋼を含む、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 6】

管状部材はステンレス鋼、線形弾性ニッケル - チタン合金、ニッケル - クロム - モリブデン合金、ニッケル - コバルト - クロム - モリブデン合金、又は白金を含む、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 7】

管状部材は、基端側セクション及び先端側セクションを有するニッケル - コバルト - ク

ロム - モリブデン合金で基本的に構成されている、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 8】

コア部材は第 1 の非超弾性材料を含み、かつ管状部材は第 1 の非超弾性材料とは異なる第 2 の非超弾性材料を含む、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 9】

先端チップには成形用のリボンが存在しない、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 10】

先端チップにはコイルが存在しない、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 11】

先端チップは放射線不透過性のコイルを含む、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 12】

管状部材は長手方向軸を有し、管状部材に形成されたスロットは管状部材の長手方向軸に沿って同じ長手方向位置に配置されたスロット群として配列され、かつ該スロット群はそれぞれ 2 つのスロットを含む、請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 13】

管状部材は長手方向軸を有し、管状部材に形成されたスロットは管状部材の長手方向軸に沿って同じ長手方向位置に配置されたスロット群として配列され、かつ該スロット群はそれぞれ 3 つのスロットを含む、請求項 1 に記載の医療用デバイス。